※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校言語文化（第一学習社）						
副教材等	『読んで見て覚える重要古文単語３１５』（桐原書店）、『新明説総合古典文法』（尚文出版）、 『新訂版　正しく読み・解くための力をつける古典　ステップ１』（数研出版）、 『ビジュアルカラー国語便覧　改訂版』（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語文化では、古典を中心に学習します。１年生では古典文法の基礎（動詞・形容詞・形容動詞と助動詞）を習得し、各単元を読み解くことで、古文への理解を深めましょう。漢文は文章を訓読し、基本的な文章を読めるようになりましょう。近代の文芸文は作品世界を味わい、豊かな感性を育みましょう。また、自分の思いや考えを他の人に伝えられるようになりましょう。

古典文法の演習と古文単語の小テストを実施します。文法書を活用し、古典文法に馴染みましょう。予習・復習の習慣をつけ、復習しやすいノート作りをしましょう。授業内容が理解できたかどうかは、定期テストだけではなく、日頃の発言や発表、提出物、ノートの記述などを総合して判断します。

２　学習の到達目標

古典や近代の文芸文に触れる事により、以下の資質･能力を育成することを目指す。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	古典の文章に慣れ親しむ。 ［教材］ 児のそら寝（p12）	a：歴史的仮名遣いについて、文語の決まりがわかる。語彙を増やしている。 b[読]：古語の文章に慣れ、人物描写や展開を的確にとらえることができる。 c：積極的に説話を読み味わい、互いに面白さを伝え合おうとしている	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	古典の文章に慣れ親しむ。 ［教材］ 絵仏師良秀（p16）	a：主に動詞について、文語の決まりがわかる。語彙を増やしている。文学史的知識が身についている。 b[読]：古語の文章に慣れ、人物描写や展開を的確にとらえることができる。 c：積極的に説話を読み、叙述に基づいて面白さを捉えようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
1学期期末	随筆を読んで、作者の主張を読み取る ［教材］ 徒然草 丹波に出雲といふ所あり（p68）	a：主に用言について、文語の決まりがわかる。語彙を増やしている。文学史的知識が身についている。 b[読]：作者の批判的精神を読み解くことができる。 c：随筆の内容構成を把握し、作者の批判的精神を積極的に読み取ろうとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	随筆を読んで、作者の主張を読み取る ［教材］ 徒然草 ある人弓射ることを習ふに（p66）	a：主に用言について、文語の決まりがわかる。語彙を増やしている。 b[読む]：作品に表れる教訓や感動を読み解くことができる。 c：随筆の内容構成を把握し、教訓や感動を積極的に読み取ろうとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
2学期中間	歌物語の特徴と読み解き方を理解する ［教材］ 伊勢物語 芥川（p26）	a：主に助動詞について、文語の決まりがわかる。語彙を増やしている。歴史的背景がわかる。文学史的知識が身についている。 b[読]：歌物語における和歌の役割を理解できる。 c：積極的に親しみ、味わおうとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	異なるテクストと読み比べる。 ［教材］ 伊勢物語・大和物語 筒井筒（p31）	a：主に助動詞について、文語の決まりがわかる。語彙を増やしている。 b[読]：読み比べて解釈を深められる。 c：積極的に読み比べ、分かったことを伝え合おうとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
2学期期末	漢文訓読の基礎を学ぶ。 ［教材］ 漢文入門（p148～157）	a：漢文訓読の基礎知識を習得する。語彙を増やしている。 b[読]：我が国の言語文化についての理解を深め、古典としての漢文を読む意義が理解できる。 c：漢文が我が国の言語文化と不可分であることを積極的に理解しようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	漢文の訓読に慣れ,史伝の特徴と読み解き方を理解する。 ［教材］ 先従隗始（p174）	a：訓読の決まりがわかる。語彙を増やしている。 b[読]：内容や展開を的確にとらえことができる。故事成語の由来と現代とのつながりについて理解を深めることができる。 c：積極的に史伝の特徴を理解しようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2学期期末	日記文学の特徴と読み解き方を理解する ［教材］ 土佐日記 門出（p56）	a：主に助動詞と助詞について、文語の決まりがわかる。語彙を増やしている。文学史的知識が身についている。 b[読]：女性に仮託した意図と、批評や諧謔の精神を読み取ることができる。 c：積極的に執筆意図などについて考えを伝え合おうとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
3学期	韻文の鑑賞の仕方を理解する。 ［教材］ 韻文（和歌・短歌など） （p90、p126）	a：韻文の修辞技法がわかる。語彙を増やしている。文学史的知識が身についている。 b[書]：作品に表れる心情や情景を読み取り、効果的な表現を使って鑑賞文を書くことができる。 c：作品を鑑賞し、ものの見方や感じ方を豊かにしようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	随筆を読んで、当時の生活や作者の価値観を理解する ［教材］ 枕草子 中納言参りたまひて（p48）	a：主に敬語について、文語の決まりがわかる。語彙を増やしている。歴史的背景がわかる。文学史的知識が身についている。 b[読]：作者の価値観をとらえ、内容を解釈できる。 c：当時の生活感覚や美意識に触れ、進んで解釈を深めようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　６５　）時間